

“転職経験を生かす”働き方

様々な人との繋がりが。

転職の最大の魅力は

「誰かのため」につながる仕事。

様々な経験を重ね、

場面が多くありました。

前職の経験を生かせる

農学

環境農林水産部
農政室 推進課
(H31 入庁)
牧野 Makino

行政

府民文化部
文化・スポーツ室 文化課(R4 入庁)
養父 Yabu

警察行政

警察本部
総務部 施設課(R3 入庁)

仕事の魅力とは？やりがいとは？
公務員とは異なる仕事を体験し
活躍する三人に今の思いを聞きました。

現在の仕事のやりがいや 魅力を教えてください

- 農学** 様々な関係者(生産者、企業、行政機関)と繋がって一緒に仕事ができるのが最大の魅力です。初めて会う関係者の方が真摯に話を聴いてくださるのは、私たちが地域のために仕事をする公務員だからだと思います。また、企業だと同業他社にアドバイスを求めることはできませんが、今は他の都道府県職員とも情報交換をし、互いに協力しあえる環境であることが魅力です。
- 行政** 先日、補助金の採択事業である子どもたちの舞台を視察に行った際、小さな身体いっぱい表現している姿に心から感動しました。文化芸術という道楽と思われがちですが、このように、次世代を担う若者の感性や創造性の育成に寄与する事業ができていることはやりがいです。
- 警察行政** 自分自身で修繕や点検する施工業者を選定し、契約締結することで治安維持に貢献できている点にやりがいを感じています。例えば、警察車両を停めている車庫のシャッターが壊れて開かなければ、捜査など警察業務に支障をきたします。そのような時、施工業者と契約し、修繕することで警察活動が途切れることなく、警察機能を維持することができるのです。

2 大阪府への転職を志した きっかけや動機を教えてください

- 農学** 大学は農学部に進学しており、もともと農や食への関心がありました。やりたいことを改めて考えた際に、「生産者に近い場所で一次産業の課題解決をしたい」と感じたことがきっかけです。前職では埼玉県にいましたが、「地元の大阪で、大阪の農業のために働ける仕事」を調べていた際に、大阪府の農学職が最適だと感じ転職を決めました。
- 行政** コロナ禍で公共サービスの必要性や重要性に気付かされたことがきっかけです。通常期は「在ること」が当たり前であまり気にしていませんでしたが、世の中がストップしたように思える未曾有の状況下で、行政だけができる支援があることに感銘を受け、転職を考えました。また、地元大阪で働けることも大きなポイントでした。
- 警察行政** 怪我の影響で諦めていたものの、警察官になって治安維持に貢献したい夢を持ち続けていました。その中で警察官である姉から警察行政職員の存在を教えてもらい、転職を決意しました。警察行政職員は、警察施設の修繕、装備品の管理など、前職の経験を生かせる場面が多くあり、治安維持にも貢献できる自分のやりたい仕事に合致していました。

3 前職の経験やスキルが生きた 経験や場面について教えてください

- 農学** 環境が変わると仕事の進め方も大きく変わります。前職の経験がベースにあるので「なぜこの方法をとるのか」「もっとこうしたらどうか」といった

ことが色々と浮かんできます。それらを上司に提案することで仕事の進め方が変わり、チームメンバーの負担が軽減されたこともあります。

- 行政** 旅行会社時代に培ったコミュニケーション力は、事業者との関係構築や府民と接するイベントの際には役立っています。また、複数の航空会社の座席を同時に手配していた経験から、マルチタスク力や業務推進力は現職に生かされていると感じます。
- 警察行政** 前職で工程管理を行っていた経験が、現職において業務スケジュールを立て、計画的に業務を行うことに生かされています。また、職員の前に立ち、連絡事項を伝える機会がありますが、前職で大人数の作業の前で作業内容の説明を行っていたので、必要なことを的確に伝えることができています。

4 今後のビジョンを教えてください

- 農学** 大阪の農業に関わる人、関心を持つ人を増やし、「大阪には素敵な生産者がいる、他にはない美味しい農産物がある」ことを全府民に知ってもらいたいです。
- 行政** 自分の経歴や特性を考えると、事業系の仕事が合うと感じています。ただ、大阪府庁には様々な業務がありますので、固定して希望分野は作らず、どのような仕事でも主体的に取り組みたいです。
- 警察行政** 私自身がロールモデルとなるような職員をめざしています。特に転職経験者の後輩の目標になりたいです。そのために業務知識や経験を活用し、後輩の進捗を促すように尽力していきます。

キャリアパス紹介

今の仕事は、私にとって

新しい世界に触れられるクリエイティブなもの。

公務員のイメージが180度変わります！

健康医療部
保健医療室
地域保健課(依存症対策担当)
参事
和田
Wada

世界観が広がる異動ローテーション

若いころ、上司の方から「伝書鳩ではいけない」と指摘された言葉が印象に残っています。未経験の分野でも、自分なりに考えて相手に伝える力が必要。上司や先輩などにご指導いただきながら、様々な部署を経験することで、多様な知見はもちろん、課題を見出す粘り強い姿勢が備わってきたと実感しています。また、自分が思っていた部署でなくとも、公務員にとって必要なスキルを培うことができるので、後々、プラスになってきます。定期的な異動により、扱う法律や背景は当然異なるため、そのつど勉強は必要となりますが、常に新鮮な気持ちで仕事に取り組みます。自分の知らないことに

柔軟さとぶれない心を求めています

公務員といえば、ルーティン業務を想像されがちですが、実際は違います。普段会えないような方へのインタビュー、大きなイベントの企画、大規模予算の執行など新しい出会いや体験、刺激に満ちています。また、こつこつと必要な支援を行う仕事もあります。自分たちが携わっていることを府民の方々に直接お届け、また、市町村の皆様などを通じてお届けできるので、やりがいを感じられます。

そして、絶えず変化していく行政課題に対応するには、しなやかさ・柔軟性が必要です。とはいえ振り回されすぎず朝令暮改では混乱や不安を与えてしまうこともあるので、これまでの歴史を大切にしつつ、それにしがみつきはせず、時流にしっかりついていく芯の強さが求められると思います。仕事は一人ではするものではないので、チーム力を高めていきたいです。

大阪府への就職を考えている方へ

大阪府庁は、時代の変化に合わせて柔軟に対応できる組織です。風通しのよい職場なので、若い方の感性や意見を積極的に発信していただきたいと思います。若い皆様がやりがいを感じながら楽しく仕事をしていただけるよう、働きやすい職場づくりにも取り組んでいます。あなたとあなたの大切な方、そして府民の皆様が安心して暮らすことのできる大阪に向けて、一緒に成長していければ嬉しいです。

より良い大阪府を
一緒につくりませんか

CAREER PATH

主事級

H7.4 主事 環境保健部 環境局 交通公害課
H9.4 主事 (出向)
財団法人
大阪府男女協働社会づくり財団

H11.5 主事 水道部 経営企画室
経営企画課

H16.4 健康福祉部 地域保健福祉室 疾病対策課

「大阪府福祉のまちづくり条例」の制定を知り、福祉に携わりたくて入庁するも配属先は専門分野の異なる環境保健部環境局。その後も、ドーンセンターでの女性セミナー・研修企画補助、水道部での議会対応・広報など多様な業務を経験するうち、幅広いスキルと主体的に動む姿勢が身につきました。

主査級

H18.4 主査 生活文化部
次世代育成支援室 少子対策課

H21.4 主査 福祉部 子ども室
子育て支援課

H21年4月から1年間の育休中は、子どもにも仕事にもプラスになればと保育士資格を取得するなど有意義に過ごしました。職場復帰後は、退職と同時に保育所へお迎えに急行する毎日。育児と仕事の両立なんてえらそうなことは到底言えませんが、両立という言葉に縛られてはいけなと思っていますが、業務の優先順位のつけかたや段取り力はついたと思います。復帰後の子育て支援課で、自身の子育て経験をさっそく職務に生かしたことも大変ありがたかったです。

課長補佐級

H28.4 課長補佐
福祉部 地域福祉推進室 社会援護課

H30.4 課長補佐
健康医療部 保健医療室
保健医療企画課

R2.4 課長補佐
健康医療部 生活衛生室
業務課

業務課では、ワクチン接種会場の運営や応援職員の調整などに従事。薬剤師職のセクションのなか、事務職として各課等との調整などを務めました。また、一般医薬品に関する知識を得るため、登録販売者試験を受験しました。

課長級

R5.4 参事 健康医療部 保健医療室
地域保健課

現在は、依存症に関する行動計画の策定や普及啓発などに注力しています。依存症対策は、大阪府の重点事業です。社会的ニーズを踏まえ対策を形にしていけることも、府庁での仕事の魅力です。